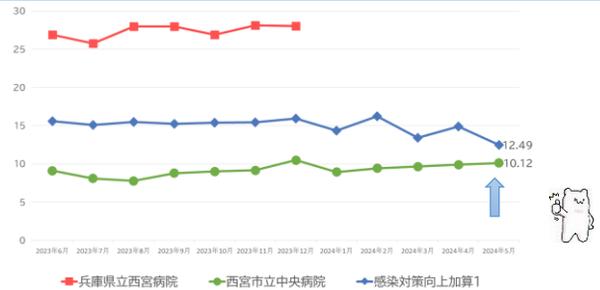




## 手指消毒剤使用量の推移

みなさん、こんにちは。  
4月のICTニュースを見てくださった方から、いろいろな反応をいただき「見てくれたんだな～」とうれしかったです。そして、みなさん右のグラフをご覧ください！皆さんの取り組みが上昇傾向としてちゃんと現れました♪この調子で、楽しく前向きな気持ちで手指衛生活動を続けていきましょう。



手指衛生剤の量的評価では、「1患者日あたり (ml)」という単位を使用しています。これは「入院患者一人に対して、医療スタッフが1日で何ml手指消毒をしたか」を表していて、院内感染を防ぐためには15ml以上必要、と言われています。この単位に換算することで、共通の数字として病院間や病棟間で比較することができます。昨年度までは6~8回くらいでうろうろしていたのですが、「手指衛生やるぞ!」と言っただけで10ml/1患者/日まで上がるなんて、皆さんすごいです!! 小坂

## TOPICS

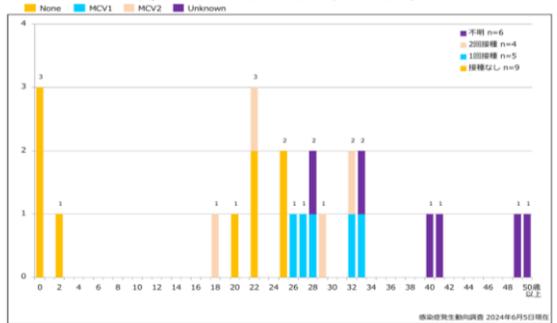
### <麻疹のお話し>

昨年度末に、当院で麻疹疑いが発生しました。国内では、2024年第22週までに国内で麻疹が24例届け出されました。10例以上はエティハド航空EY830便関係と報道されました。国内における麻疹累積発生数は2021年6例、2022年6例、2023年28例、2024年第24週までで24例と海外への渡航、海外からの入国の再上昇とともに増加がみられています。2024年の24例では国立感染症研究所の報告よりワクチン接種歴を確認すると、2回接種4名、1回接種5名、接種なし9名、不明6名となっています。ワクチン2回接種した人も感染していることは注目に値すると考えられます。

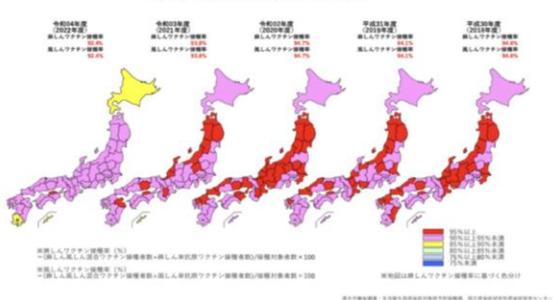
麻疹は8つのタイプ24種類の遺伝子型に分類されています。日本土着のウイルスD5型は2010年5月を最後に国内では検出されていないこともあり、2015年3月日本は麻疹排除国となりました。計算上は麻疹の流行を防ぐにはワクチン接種率が95%以上なければならないとされています。しかしコロナ禍でワクチンを摂取し損ねた人が増加していることが懸念事項となっています。

網野

6. 年齢別接種歴別麻疹累積報告数 2024年 第1~22週 (n=24)



第2期 麻疹風しんワクチン接種状況



感染対策室では、日本環境感染学会の発出する「医療関係者のためのワクチンガイドライン第3版」に準じ、職員の流行性ウイルス疾患の抗体保有状況を確認する作業を進めています。「ワクチン接種歴および抗体保有状態申告書」のご記入および提出にご協力ください。

小坂